

第7次舟形町総合発展計画答申（案）に寄せられた意見の概要と意見に対する町の考え方

- 1 意見募集期間 令和2年2月13日（木）～2月24日（月）
- 2 提出されたご意見の件数 6件（意見者数2人）
- 3 提出された意見の概要及び意見に対する町の考え方

※ページ数は第7次舟形町総合発展計画答申（案）の関連ページ

| ご意見の概要 | 町の考え方 |
|--|--|
| <p>【意見1】</p> <p>○ 5ページ目の世界規模での社会・環境問題について、舟形町でも豪雨災害による大きな被害があった。パリ協定の「地球の気温上昇を2℃未満に」の実現に向け、舟形町ではできるだけ再生可能エネルギーを使う取り組みを。</p> | <p>ご指摘いただいたとおり、本町も国際社会の一員として、地球温暖化防止に向けた対策に積極的に取り組んでいくことが求められます。</p> <p>二酸化炭素などの温室効果ガスを削減するため、自分たちが使うエネルギーに対する意識を高め、公共施設へ積極的に省エネルギー・再生可能エネルギー設備を導入するとともに、一般家庭や企業への再生可能エネルギー等の設備導入を支援する取り組みを進めてまいります。（P79～80）</p> |
| <p>【意見2】</p> <p>○ 9ページ目の多様化する社会では、心の豊かさや創造性を発揮できる環境をつくっていくことが必要。そのために町民合唱団があれば良いと思う。それにより町に残る若者も増えるし、健康づくりとストレス解消にも役立つ。</p> | <p>社会教育、社会体育ともに、団体やサークルの結成は歓迎いたします。町が特定の活動団体を結成する予定はありませんので、有志による団や会の立ち上げがあれば、可能な限りお手伝いやご支援をさせていただきます。</p> <p>（P41～42、P43～44）</p> |

| | |
|--|--|
| <p>【意見3】</p> <p>○ 15ページ目の基本目標6生活環境について、海洋プラスチックごみが社会問題になっている。舟形町でもポイ捨てや燃やしている人がいる。</p> | <p>ご指摘いただいたとおり、海洋プラスチックによる海洋汚染は地球規模で広がっています。町では、身近な生活環境において、町民一人ひとりが自分のできる範囲の美化活動への参加を促し、共同活動を通じた生活環境保全への意識醸成を図るとともにごみの不法投棄パトロールや看板の設置など不法投棄防止に努めてまいります。(P79～80)</p> |
| <p>【意見4】</p> <p>○ 22ページ目の町ぐるみの教育の充実に関連して、総合文化展への出展が減っている。コミュニティスクールを推進している観点からも、地域の方の作品を見る子どもたちにとって大事な学習。県美展で入選した作品等にも依頼をしてほしい。</p> | <p>ご指摘いただいたとおり、町総合文化展の出展作品は、児童生徒の減少によりやや減少傾向にあります。県美展作品の巡回展示には分担金や輸送費の負担のみならず、展示中の地元美術協会員を中心とした管理費体制が必須となることから、町内での開催は難しい状況です。</p> <p>今年度も開催した最上学童展入選作品展(町内児童生徒の作品)は大いに反響がありましたので、来年度以降も実施できるよう検討してまいります。(P39～40、P43～44)</p> |
| <p>【意見5】</p> <p>○ 22ページ目のUJIターンに関連して、首都圏等の災害時に備え、空き家等を整備した方がよいのではないかと。</p> | <p>ご指摘いただいたとおり、首都圏のみならず災害への備えは重要です。大規模な災害発生時に自治体の区域を越えて住民が避難する「広域避難」の際は、舟形町地域防災計画の災害応急計画により他県等からの避難受入要請への対応について町、県及び防災関係機関と連携し、進めることとなります。</p> <p>なお、今後増加が予想される空き家の管理・活用について様々な方向から検討してまいります。(P65～66、P77～78)</p> |

【意見6】

○ 舟形若あゆ温泉の周辺は比較的日当たりがよく、その周囲には作付けしていない水田もあることから太陽光発電設備を導入してはどうか。

ご指摘いただいたとおり、本町も国際社会の一員として、地球温暖化防止に向けた対策に積極的に取り組んでいくことが求められます。

これら環境に優しいエネルギー政策の推進に加え、土地利用の観点からも良好な景観や恵みをもたらす貴重な資源として、地域にあった活用方法を検討してまいります。(P79～80)